

# デیلیー・ジーザス・ニュース #193

## イエスは弟子としての重要な問題について語る

### 時代を理解するためのイエスの警告

#### ルカ12章54-59節

54 彼は群衆に向かってこう言った。『西に雲が上がりてくると、すぐに『雨が降る』と思うでしょう。そして実際に雨が降ります。55 そして南風が吹くと、『暑くなりそうだ』と言いますが、実際そうなるのです。56 偽善者たちよ！あなたたちは、地や空の様相の解釈を知っているのに、どうしてこの今の時の解釈が分からないのですか。

57 「何が正しいのかを自分で判断したらどうですか？ 58 あなたを訴える者と役人のところへ行くときには、途中で永久に和解するように努めなさい。そうでないと、あなたを訴える者があなたを裁判官のところへ引きずり出し、裁判官はあなたを役人に引き渡し、役人はあなたを牢に入れてしまうかもしれません。59 最後の一銭まで払い終えるまで、抜け出すことはできないと断言します。」

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = <sup>MT</sup>、マーク = <sup>M</sup>、ルカ = <sup>L</sup>、ヨハネ = <sup>J</sup>、使徒行伝 = <sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、**赤いイタリック体はイエスの言葉を示します**。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ユダヤのどこかで何千人もの群衆に語りかける
タイムライン	10月または11月（33、34か月目）
イエスの生涯の文脈	第六段階：イエスの後期ユダヤ教宣教
	D. イエスはユダヤで宣教し、弟子たちを訓練する
	3. イエスは弟子としての重要な問題について語る
タイトル	viii.時代を理解するためのイエスの警告

#### コメント：

今日の朗読箇所冒頭の、ルカは再び「群衆」に言及しています。ルカはこの長い箇所でも、歴史的な詳細をほとんど省き、イエスの弟子としての教えを強調することに努めました。時折見られる群衆への言及のような簡潔な物語的記述は、イエスが弟子たちと共にユダヤの町から町へと「旅」を続けていたことを思い起こさせます。この時期、何千人もの群衆がしばしばイエスの周りに集まっていました。

## デイリー・ジーザス・ニュース #193

イエスが大勢の群衆に語りかけたという記述が数多くあることから、イエスは遠くまで届く力強い声を持っていたことがわかります。屋外で何千人もの人々に、自分の地声だけで語りかけるのは容易なことではありません。イエスが普段は一日中、毎日語り続けていたことを思い出すと、さらに驚くべきことです。何時間も群衆の注意を引き付け続けるイエスの能力は、彼の魅力とコミュニケーション能力を物語っています。イエスは史上最も偉大なコミュニケーションの達人でした。ヨハネによる福音書で彼の最初の称号が「言葉」であることも不思議ではありません。

「時のしるし」を見逃す危険性について警告しました。彼らは日々天気予報に熱中し、常に正確に予報することができましたが、神の国がイエスを通して彼らの目の前に来ていることを示す多くの兆候を認識していなかったことを、イエスは叱責されました。彼らが目撃した、神が人となって来られたことこそ、歴史上最も重要な出来事だったのです。

さらに、イエスは死と復活—生涯で最も重要な出来事—を急速に迎えようとしていました。誰もがイエスに最大限の注意を払い、熱烈な忠誠を尽くすべきでした。しかし、世の人々は目の前で何が起きているのかに全く気づいていませんでした。それは、盲目的な偽善そのものでした。

悲劇的なことに、イエスの生涯と宣教の比類なき意義に目を向けなかった人々は、致命的な結果をもたらしました。御子を通して神と和解するどころか、イエスを無視した人々は、イエスとの関係を持たずに最後の審判を受けることを確実に免れませんでした。それは、地獄で永遠の罰を受けることを意味しました。

イエスにおける神の啓示と救いを理解し、それに応答しないことは、実に深刻な問題でした。イエスは今日の聖書箇所、愛をもって彼らにこのことを思い起こさせました。

応用：

私たちはあまりにも頻繁に、イエスの生涯と宣教の真理に注意を払っていません。聖書の証言に基づいてイエスについて学ぶことこそ、私たちの人生における最も崇高で比類のない焦点であるべきです。

地上での私たちの人生、そして天国での永遠の命のすべては、イエスにある真理について私たちが何を知り、何をするかにかかっています。イエスはこう言われました。 **「わたしを離れては、あなた方は何もすることができない。」**

あなたはイエスの生涯と教えに最大限の注意を払っていますか？

「彼に同意する」ための知識と実践を増やすために、あなたは何ができますか？いつから始めますか？